

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	日本経済論 (Japanese Economy)					担当教員	王 子龍 (オウ シリュウ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2036-0-33-082	専門科目	選択	2単位	3年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2436-0-33-021	専門科目	選択	2単位	3年次	前期		

① 授業のねらい・概要						
本講義では、日本経済の構造と変遷を歴史的視点と現代的視点の双方から理解することを目的とする。戦前から戦後復興、高度経済成長、バブル経済、長期停滞、近年の経済政策や人口減少問題までを取り上げ、日本経済の発展過程を体系的に学ぶ。これにより、現代日本の経済課題を多角的に理解し、ニュースや社会問題を経済的観点から考える基礎を養う。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
専門的知識・技能を活かす能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
講義形式を基本とし、スライド資料を用いて解説する。統計資料や図表を適宜提示し、日本経済の変化を具体的に理解できるようにする。理解を深めるため、数回ワークシートを実施する。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
特に必須の予備知識はないが、マクロ経済学やミクロ経済学の基礎知識があると理解が深まる。日頃から日本経済に関するニュースに関心を持つことが望ましい。						
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。						
指定教科書は使用しない。授業ではスライド資料および配布資料を用いる。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
伊藤隆敏・星岳雄 (2023)『日本経済論』東洋経済新報社。						
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
日本経済は私たちの生活や就職環境と密接に関わっている。本講義では、具体的な事例やデータをもとに、日本経済の流れを分かりやすく解説する。授業内容を通して、現代の経済ニュースを主体的に読み解く力を身につけてほしい。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 現在の日本経済の基本的な構造や課題を整理して説明できる。 (2) 日本経済の歴史的変化と構造転換の流れを関連付けて説明できる。 (3) 学んだ知識をもとに、日本経済の将来課題を説明できる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	日本経済の理解	日本経済の発展過程を体系的に把握し、主要な特徴を整理して説明できる。	日本経済の基本的な流れを理解し、重要なポイントを整理して説明できる。	日本経済の基礎的事項を整理して説明できる。	日本経済の基礎的事項について、主要な点を挙げて説明できる。	日本経済の基礎的事項を説明できない。
(2)	構造理解	歴史的背景を踏まえ、日本経済の構造的特徴を多面的に説明できる。	歴史的変化と構造的特徴を関連付けて説明できる。	歴史的変化と構造的特徴について説明できる。	歴史的変化については説明でき、構造的特徴との関連についても一部説明できる。	歴史的変化を説明できない。
(3)	現代経済を読み解く力	学んだ知識をもとに、現代日本経済の課題を多面的に説明できる。	学んだ知識を活用し、現代日本経済の課題を説明できる。	授業内容を踏まえて現代日本経済の課題を説明できる。	現代日本経済の課題について、主要な点を挙げて説明できる。	現代日本経済の課題を説明できない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	60%		20%		20%		100%	
(1) 日本経済の理解	30%		5%		5%		40%	
(2) 構造理解	20%		10%				30%	
(3) 現代経済を読み解く力	10%		5%		15%		30%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	定期試験の結果は必要に応じて全体に共有する。ワークシートは授業内で要点を整理する。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	日本経済を読み解く視点：経済指標と景気の捉え方	主要経済指標の意味を整理し、景気判断の視点を意識してまとめる						120分
2	近代化の起点を探る：江戸から続く経済的基盤	江戸時代の経済的特徴を整理し、近代化とのつながりを意識してまとめる						120分
3	戦争と統制の時代：戦前・戦時経済の制度的影響	戦前・戦時期の経済統制の特徴を整理し、制度面の変化を配布資料をもとにまとめる						120分
4	戦後改革と復興のプロセス：占領期の制度転換	占領期の主要改革を整理し、日本経済への影響を意識してまとめる						120分
5	高度経済成長のダイナミズム：成長を支えた諸要因	高度成長を支えた要因を整理し、社会や産業への影響を意識してまとめる						120分
6	転換期としての1970年代：成長モデルの揺らぎ	オイルショックと経済構造の変化を整理し、成長モデル転換の背景を意識してまとめる						120分
7	資産価格の高騰をめぐって：バブル景気の形成要因	バブル形成の背景を整理し、金融政策や国際要因との関係を意識してまとめる						120分
8	長期停滞の始まり：バブル崩壊とその帰結	バブル崩壊後の経済状況を整理し、長期停滞との関係を意識してまとめる						150分
9	経済再生への模索：金融危機と制度対応	金融システム改革の流れを整理し、日本経済の再生過程を意識してまとめる						120分
10	リーマンショックと世界金融危機	リーマンショックの概要と日本経済への影響を整理し、国際的連動性を意識してまとめる						120分
11	異次元緩和の時代：アベノミクスの展開と評価	アベノミクスの三本の矢を整理し、政策の成果と課題を配布資料をもとに振り返る						120分
12	複合危機への対応：コロナ禍と世界的インフレ	コロナ禍の経済影響とインフレの背景を整理し、最近の経済動向との関係を意識してまとめる						120分
13	人口減少社会を考える：成長制約と構造変化	人口減少が経済に与える影響を整理し、社会構造の変化を意識してまとめる						120分
14	転換期の経済政策：「新しい資本主義」をめぐって	近年の経済政策の方向性を整理し、日本経済の将来課題を意識してまとめる						120分
15	総括：日本経済の歩みを振り返る	これまでの講義内容を整理し、重要な流れとキーワードを意識してまとめる						180分
⑫ アクティブラーニングについて								
知識定着・確認型ALとして、数回ワークシートを実施し、講義内容の整理と振り返りを行う。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	